

Bangladesh・シュンドルボンにおける 生物多様性保全を目指した自然体験プログラムの開発及び実践

活動地域  Bangladesh



自然体験プログラムの様子①

課題

地域住民の環境保全に対する意識不足や経済的貧困により、マングローブを過剰利用していることから、シュンドルボンの生物多様性は急速に失われている。

目標

シュンドルボンの自然をいかした自然体験プログラムを開発し、地域住民が主体となって実施することで自然環境の保全と生計向上の両立を図り、生物多様性の保全を目指す。

ひろげる助成

2年目

実践

活動内容と成果

シュンドルボンにおける生物多様性保全の重要性を伝えることを目的とした植林イベントを3回開催し、地域住民が延べ100人参加した。また、新型コロナウイルスの影響で時間的な余裕が生まれたことから、自然体験プログラム内で実施するアクティビティ開発を進め、計30種類開発した。これにより、季節ごとに旅行者や参加者のニーズに合わせたプログラム提供が可能となった。さらに、参加者から参加費の半額を徴収する形でのプログラム提供をはじめた。新型コロナウイルスの影響により集客の苦戦が予想されたが、2回開催され34人が参加した。



自然体験プログラムの様子②

開発した
アクティビティ数 **30種類**

自然体験プログラム
への参加者数 **81人**

今年度計画の達成度 **100%**

目標達成度 **60%**

苦勞した点と工夫した点

苦勞した点

新型コロナウイルスにより先行きが不透明なときに、地域住民のモチベーション維持が難しかったこと。

工夫した点

日本の自然体験活動や環境教育プログラムにおける感染症対策を共有し、Bangladeshに合わせた対策を検討したこと。



今後の
展望

2020年度はリーフレットやウェブサイトの開発を進めた。2021年度はこれらを活用し、自然体験プログラムへの参加者数を増やすとともに、地域住民が主体となり自立した運営体制構築を目指す。

〒116-0013
東京都荒川区西日暮里5-38-5
日能研ビル1階
電話：03-5834-2897
E-mail：info@jeef.or.jp
HP：https://jeef.or.jp/

